

# 吹奏楽部・野球部 共同応援を録音



▶吹奏楽部と野球部の共同応援の様子



▲野球部は試合での応援同様に大きな声で応援した。

The banner features large, bold red Japanese characters on the left side. From top to bottom, the characters read "チアリーダー" (Cheerleader) and "結成に向け" (Towards formation). To the right of the text is a photograph of two female students in school uniforms standing behind a large snare drum and a smaller drum. They appear to be in a music room or rehearsal space.

吹奏楽部部長の明石珠美さん（2年）は部の雰囲気を「野球部と応援を合わせてみて、いよいよ甲子園に行くという実感が湧いた。吹奏楽部には甲子園で応援することが夢だった人も多いので、みんなやる気を持って取り組んでいる」と笑顔を見せた。また「応援歌は普段の曲と違つてずっと音を出し続けなければならぬいうえ、すぐ次の曲を吹かなければならない。吹きっぱなしで大変だが、野球部の皆さんに力を出してもらえるようになればなにかが途切れないと音が途切れないので、甲子園に向けて『甲子園という大きな試合の応援に連れていっていただきありがとうございます。吹奏楽部一同精一杯応援に力を尽くしますのでも頑張ってください』とエー

7月29日に本校多目的ホールにて吹奏楽部と野球部による共同応援の録音が行われた。録音された応援は滋賀学園高校チアリーディング部の村井三幸コーチに送られ、甲子園出場を決めた本校野球部を応援するために本校生徒から結成されるチアリーダーの応援の振り付けを考えていたぐ。

張りたい」と意気込んで吹奏楽部顧問の松生は「野球部と応援するのは慣れているが、となるとチアリーダー客などいろんな人とあるので、いかに応えていくかが課題だおかげで良い経験なので感謝したい」と感謝を表された。

6) は吹奏楽部と応援を合わせてみて「声を出すタイミングが難しかった。全員が把握できていおらず曖昧な部分があるのでしつかり仕上げていきたい」と課題を話した。また応援について「甲子園では約5000人が声を合わせることになるので、声を出すタイミングを合わせるのは難しいと思う。野球部が積極的に動き、来てくれた人全員が応援をしつかり合わせられるようになしたい」と目標を掲げた。最後に辻君は「4年前のようにアルプススタンドを赤一色にしたい。甲子園のグラウンドは一人ひとりの声がよく響くので、5000人の声が一つになるとどれくらい響くのか楽しみ。大きな声を出して応援を響かせられるように頑張りたい」と意気込んだ。

吹奏楽部顧問の松島正宜先生は「野球部と応援を合わせるのは慣れているが、甲子園となるとチアリーダーや一般客などいろんな人との絡みがあるのでも、いかに応援を合わせていくかが課題だ。野球部のおかげで良い経験を積めるので感謝したい」と野球部に感謝を表された。